

デジタルサイネージソリューション



デジタルフラッグ広告への取組

パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社
デジタルサイネージコンソーシアム 副理事
佐村智幸

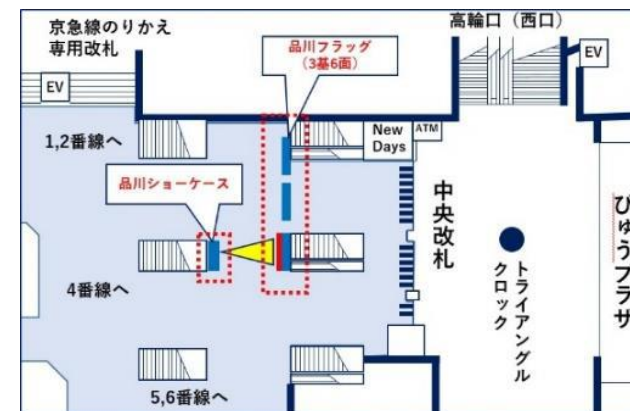
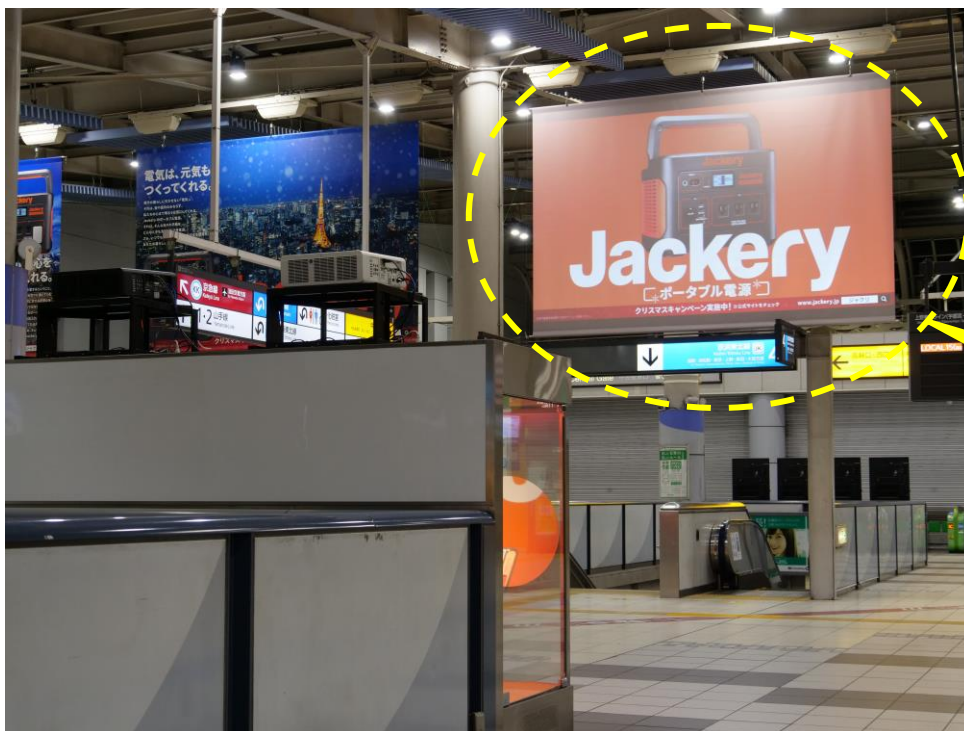
- 品川実証実験におけるシステム基本構成
- 技術的な課題

導入事例

株式会社ジェイアール東日本企画様が実施された実証実験に、パートナーとして参画しました。

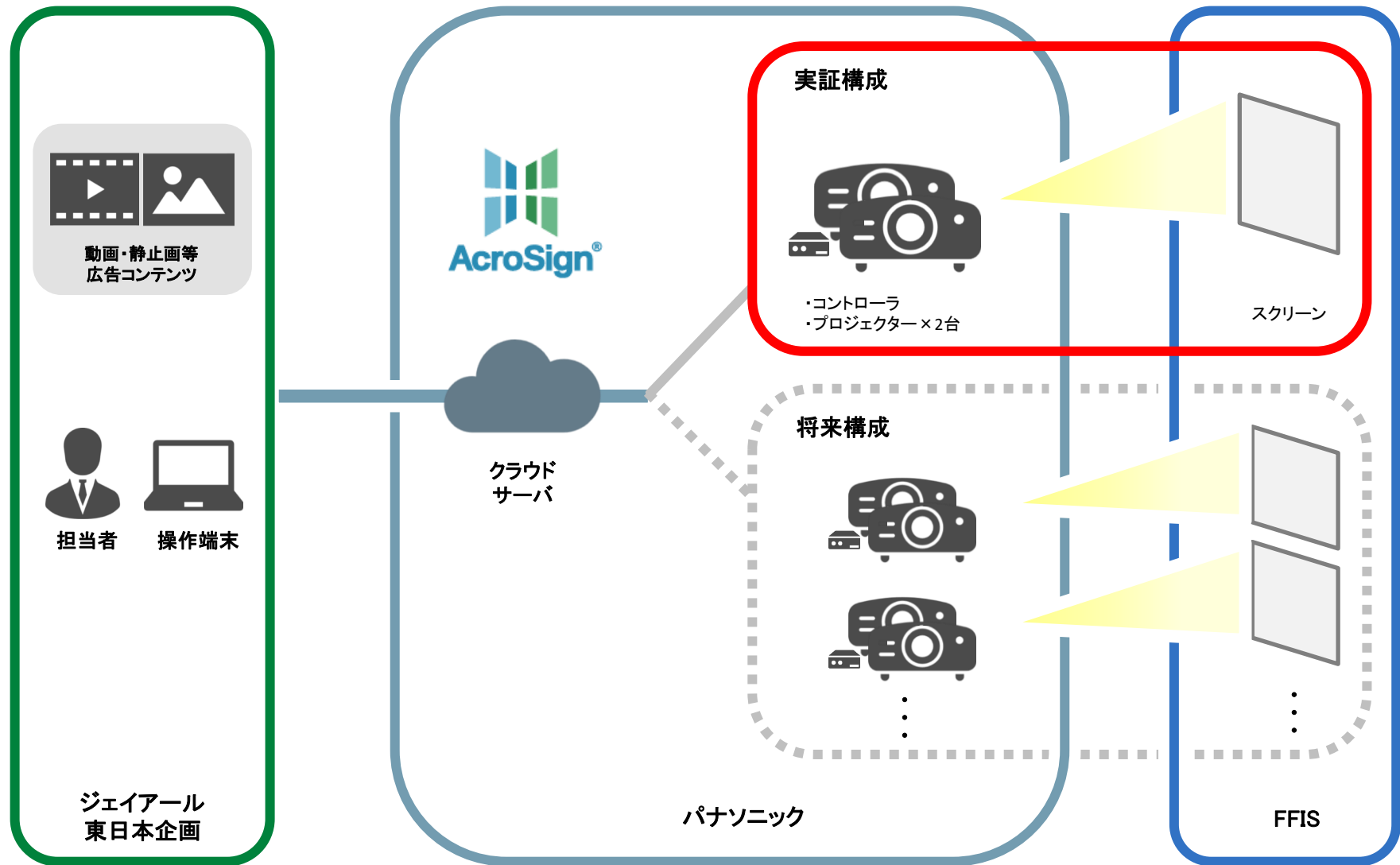
実施概要

- (1) 実施期間：2020年12月14日（月）～ 1週間
- (2) 放映期間：5:00～24:00（19時間）
- (3) 実施場所：JR品川駅中央改札内（右図参照）



デジタルフラッグ

●品川での実験システム構成



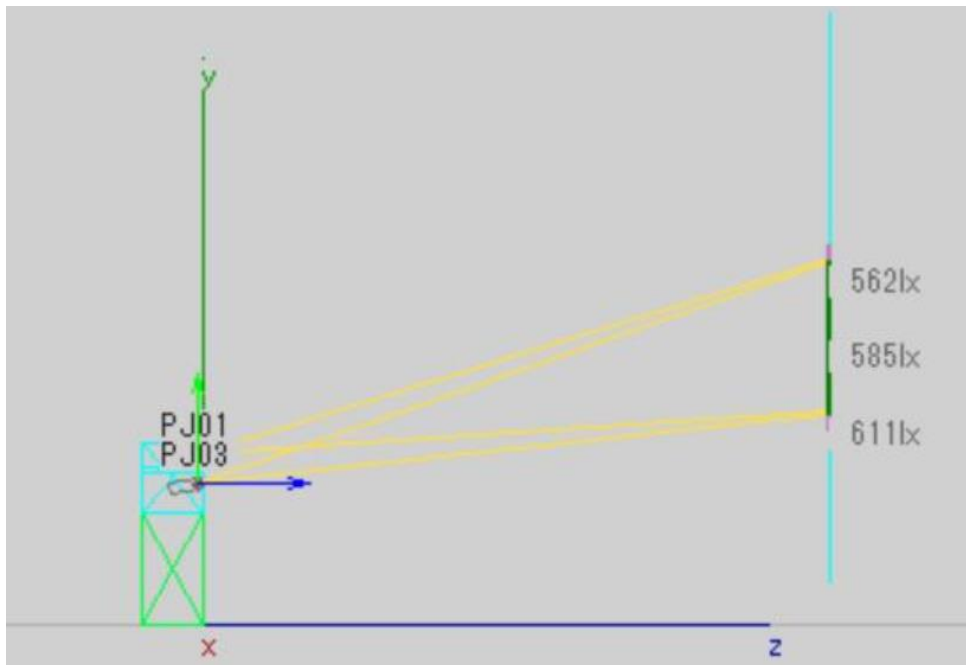
※ 100V電源対応のため1万lmプロジェクターをデュアルスタックで投射

実証実験における課題

- コントラストを改善したい
- 風等による揺れを改善したい
- 多面的な投影広告を表示したい
- ホコリ、鉄粉対策が必要

実証実験における課題

- コントラストを改善したい
 - 投影距離を縮める。高輝度PJ機種に変える。
照明を暗くする。



例) PT-RZ21K 20,000lm/ 200V仕様



実証実験における課題

- コントラストを改善したい
→ スクリーン素材を変える



例) DNP 大日本印刷株式会社様
JETBLACKスクリーン

http://www.dnp.co.jp/dnp_trading/product/pdf/jetblack.pdf

実証実験における課題

- 風等による揺れを改善したい
 - 1台投影にする
 - ある程度レンズ焦点許容でカバー
 - 更に激しい揺れには??

<https://youtu.be/YuDRmoDa3Cg>

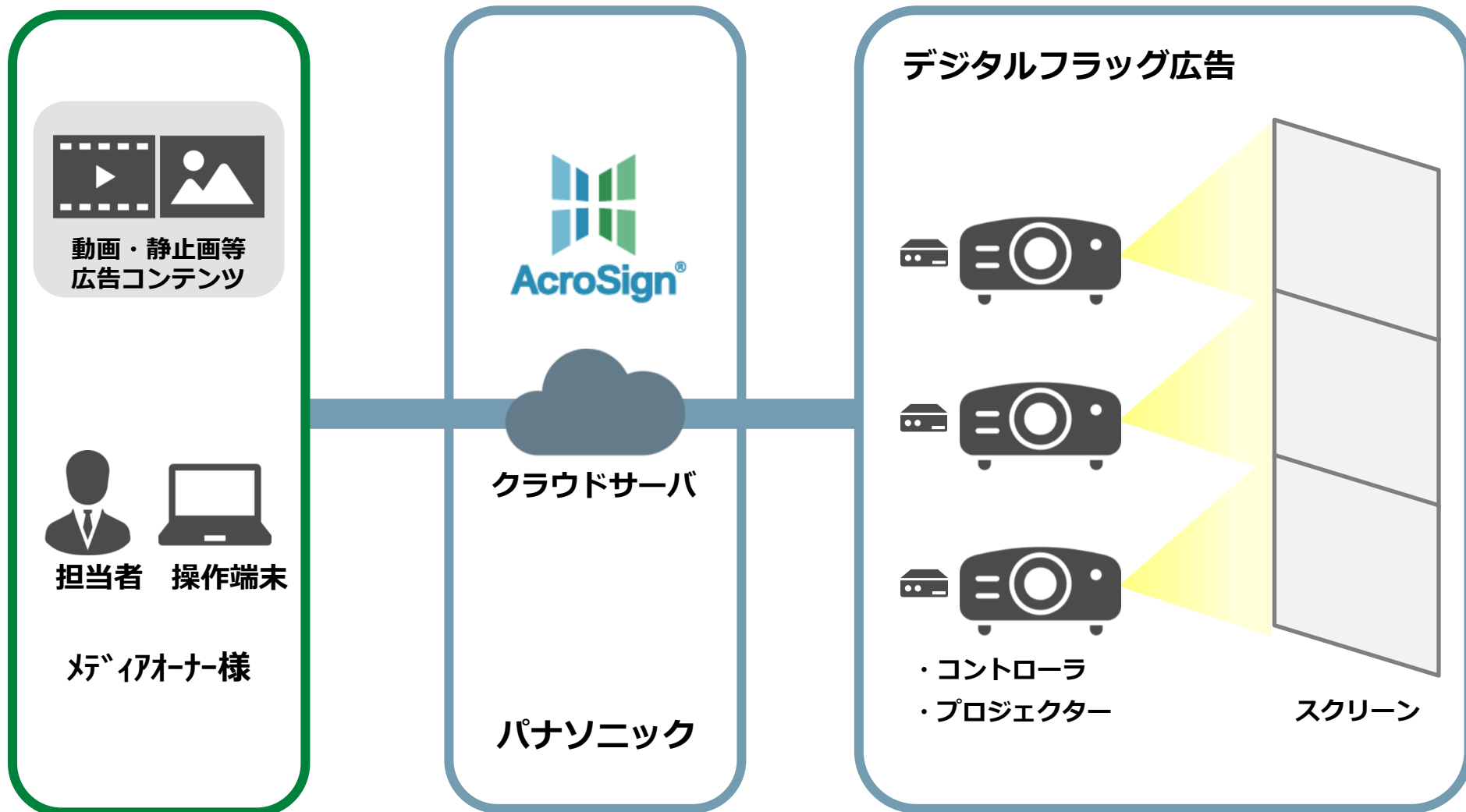
実証実験における課題

- 多面的な投影広告を表示したい
 - PJブレンディング投影を実現できる精度よいフレーム同期再生サイネージ必要

空間演出を強化したサイネージシステム


Panasonic
BUSINESS

AcroSign3.0なら、Bright Sign※コントローラを用いることで、多面スクリーンを簡単に同期再生可能です。マルチディスプレイのようなフラッグ広告が容易に実現出来ます。（※米国 Bright Sign社の商品です。）



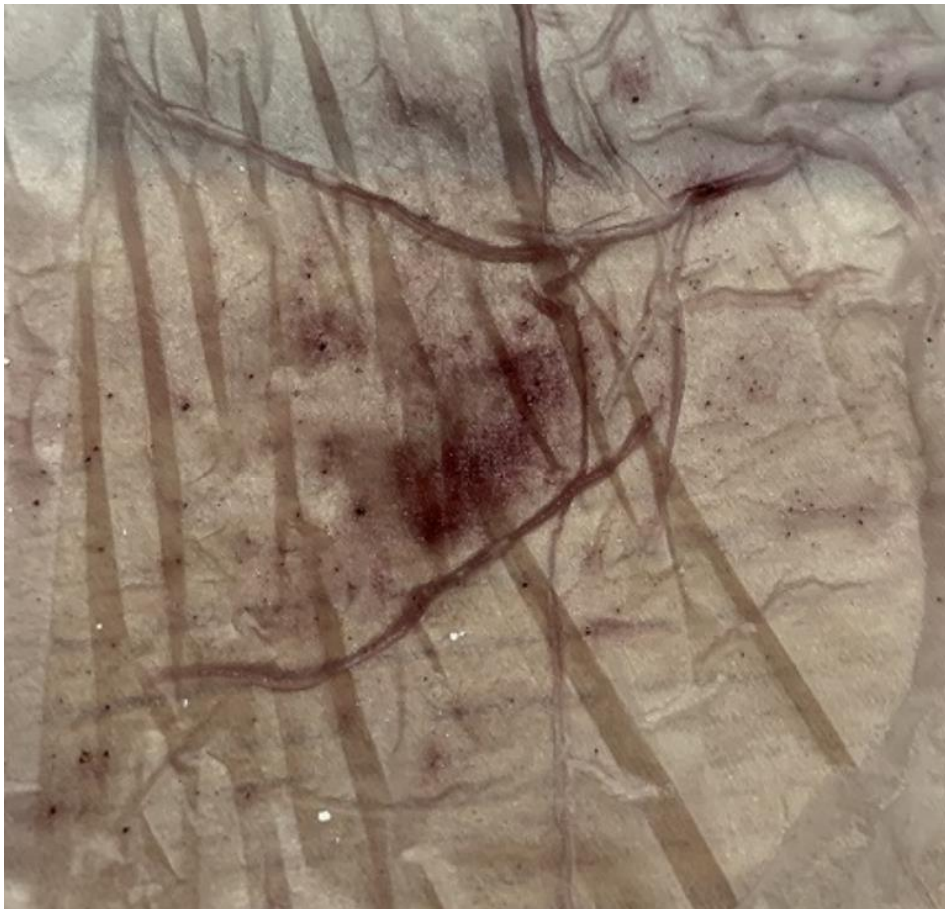
空間演出を強化したサイネージシステム（PJ×3台 4面VR投影）

Carnival of Venice
ITALY



実証実験における課題

- ホコリ、鉄粉対策が必要



(例)某鉄道会社改札付近のホコリ
ティッシュペーパー上に置いた埃に チオ
グリコロール酸アンモニウム溶剤を染み
込ませ、20分放置後の写真



PJ吸気口に特殊フィルターが必要

Panasonic

BUSINESS

※本書の掲載内容は2021年 1月 現在のものです。

※本書の記載の会社名、製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。